

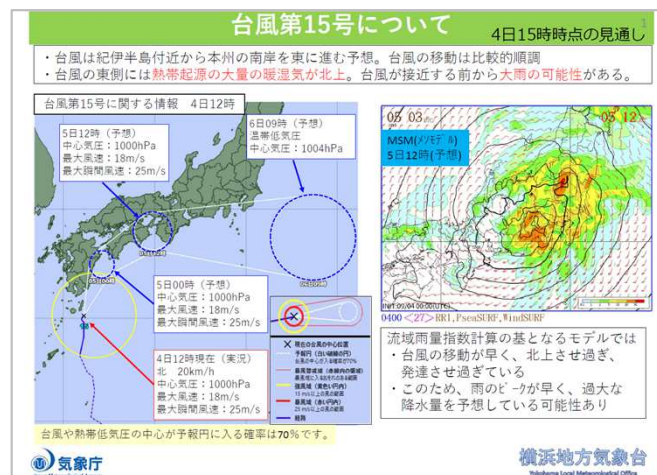
1. 出水期を踏まえたアンケートについて

資料3-1

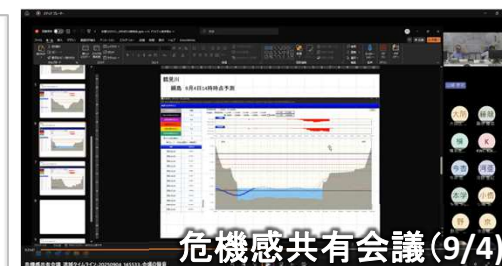
R7.12月に、出水期を踏まえた流域タイムラインに関するアンケートを実施させていただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。

令和7年台風第15号の概要

9月4日 危機感共有会議	10:33	Web会議開催周知 (鶴見川 亀の子橋水位観測所等にて避難判断水位超過の予測)
	15:00	危機感共有会議開催
	17:57	メールにて会議資料、音声ファイルの共有(氾濫注意水位超過予測の観測所なしを周知)
9月5日 情報共有会議	9:28	Web会議開催周知 (鶴見川 亀の子橋水位観測所等にて避難判断水位超過の予測)
	13:00	情報共有会議開催
	14:36	メールにて会議資料、音声ファイルの共有



↑気象庁(横浜地方気象台)
台風第15号について(4日15時時点の見通し)



アンケート依頼内容

実際に流域TLを発動したことを受け、より有用な流域TLとなるための改良や今後の訓練につなげるため、当時の対応状況や課題についてお聞かせください。ご協力をよろしくお願いいたします。

- 形式: Webアンケート
- 期限: 12/26(金) 17:00

主な質問内容

- ・ 会議で提供している情報について
- ・ 川の防災情報や水害リスクラインの確認状況について
- ・ 流域タイムラインの活用と修正案について
- ・ その他ご意見

回答時間目安: 5~10分

2. 出水期を踏まえたアンケート結果

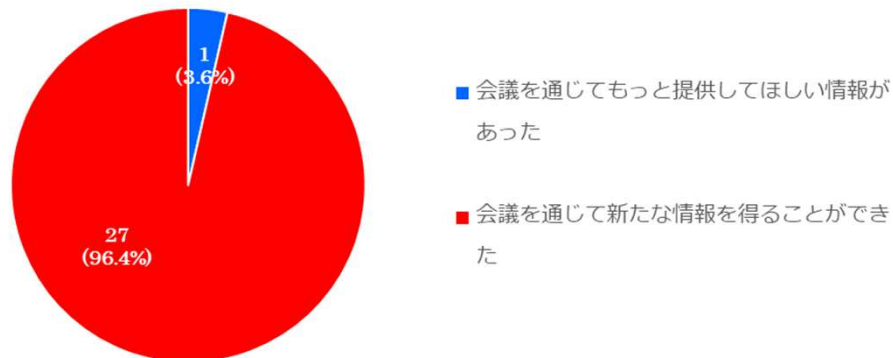
アンケート回答数：28名

アンケートのご協力をいただきありがとうございました。

会議で提供している情報について

27機関が新たな情報を得られた（問題なし）との回答

Q02. 会議を通じて、気象台からの降雨に関する情報、水位の現状と予測について情報共有を行いました。今回提供した情報について教えてください。



もっと提供してほしい情報について

河川の水位予測（1級河川だけでなく小規模河川の情報）

流域タイムラインでは、大臣管理区間の情報発信を目的として運用を行っております。

都県管理区間などの情報に関しては、川の防災情報や水害リスクラインより状況のご確認をお願いいたします。

水害リスクライン36時間先予測の活用事例

提供情報の使い方	
自治体	町で実施するイベント関連やリスク情報として関連する担当課へ通知するとともにグループウェアへの掲載
	水害時緊急避難場所の開設時期の判断材料
	動員体制の判断材料
	降雨のピークや夜間帯を避けて開設を準備する必要がある為、長期予測は重要である。今後ご提供いただきたい。
	避難情報の発令の判断材料
事務所	異常洪水時防災操作の影響把握や下流河川の水位予測を踏まえ、通常の洪水調節や後期放流の放流量よりもダムの放流量を減量する操作が必要となるのかを確認するために活用。
鉄道	列車の運行停止を検討する際
	浸水予想エリアの避難（車両）の判断材料

引き続き、水害リスクライン36時間先予測の情報提供を行ってまいります。

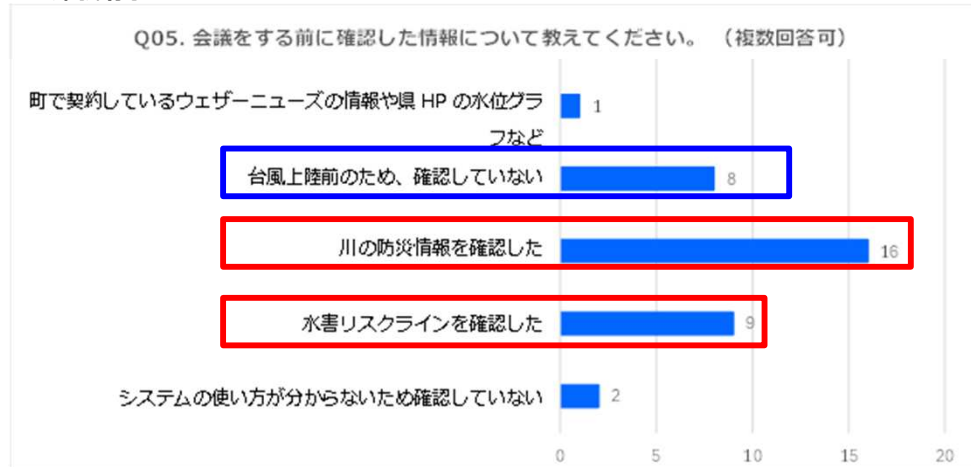
※洪水予測は、先の予測ほど精度が低下する傾向にあります。提供情報の取り扱いは、各機関で判断ください。

また、最新状況のご確認も合わせてよろしくお願いいたします。

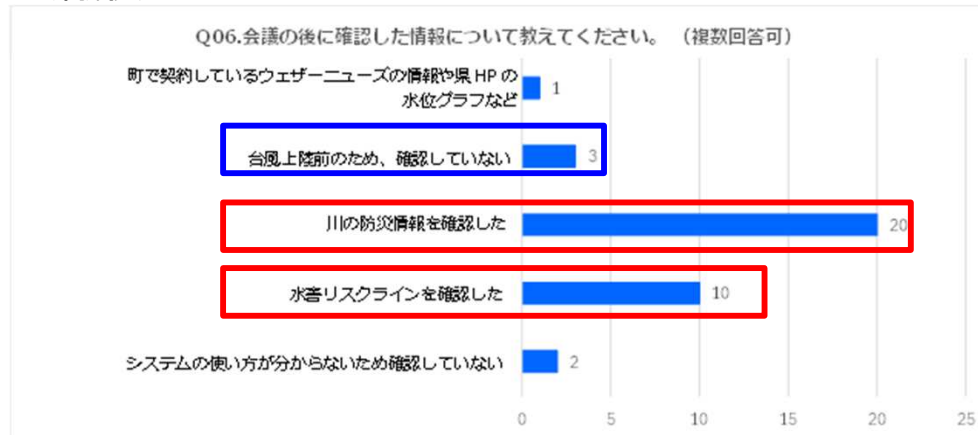
2. 出水期を踏まえたアンケート結果

会議前後での情報確認について

会議前



会議後

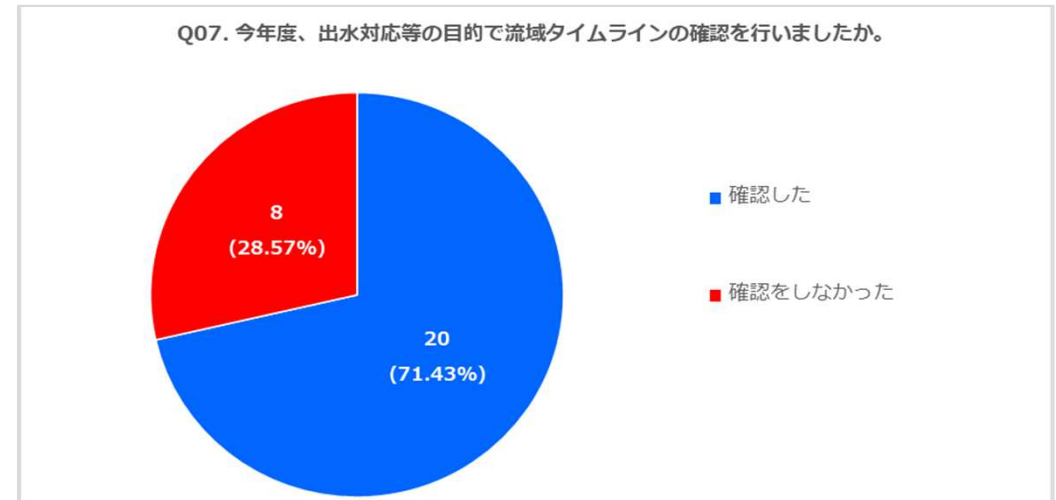


会議後に情報確認を行った機関が増えている

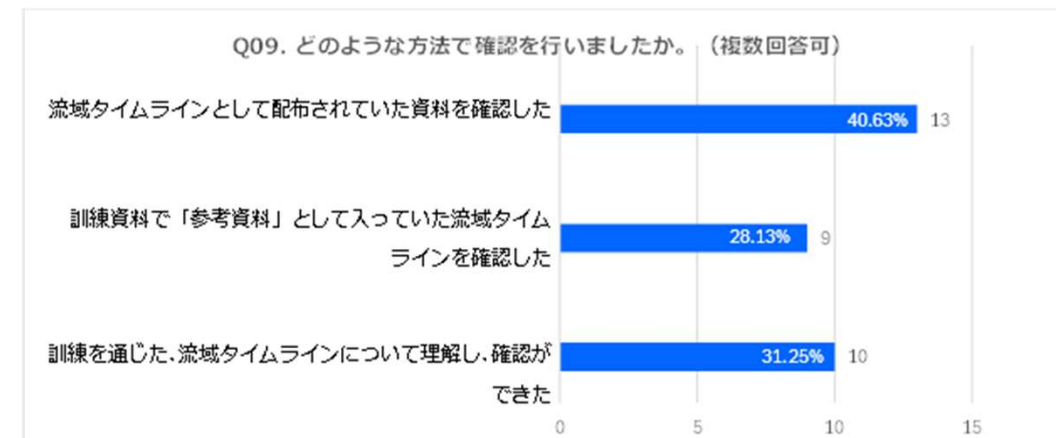
本資料の後ろには参考情報として、川の防災情報と水害リスクラインの確認方法を掲載しております。
是非、ご確認ください。

流域タイムラインの確認状況について

約7割が確認したと回答



流域タイムラインの確認方法について



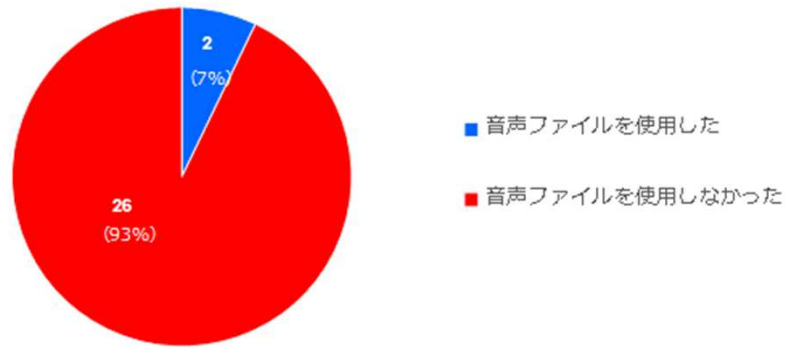
流域タイムラインの確認方法について、わからない機関は、京浜河川事務所までご連絡ください。また、流域タイムラインをスムーズに引継ぎができるよう、毎年の訓練継続やクイックスタートガイドを作成し配布する予定です。

2. 出水期を踏まえたアンケート結果

音声ファイルの共有について

訓練時に、会議に参加できなかった場合の伝達手段について、ご要望をいただいていたため、メールにて会議資料と音声ファイルをお送りしておりました。

Q11. 会議後にメールで音声ファイルの共有を行いましたか？



音声ファイルの利用目的

再確認のため

送付した音声ファイルについて、ご利用いただき効果がありましたので、引き続き実施してまいります。

流域タイムラインの改善に向けた意見

回答

防災担当職員が3～4年で異動となり、知識の継承が難しい実情があるため、毎年のタイムライン訓練を実施していただきたい。

開催のトリガーが分かり辛く、メールでの周知だけだと気づけないこともあるので、気づける方法が必要。例えば県の防災行政通信網で連絡いただくなど。

リアルタイムでなくとも会議中もしくは会議直後に情報共有された内容が確認できる体制（録画、文字起こし等）を整え、より有効な手段になる。

当日に会議開催の連絡だけでなく、前日に予告があるとありがたいです。

流域タイムライン確認訓練について、毎年実施し、各機関への周知を行ってまいります。

また、流域タイムラインをスムーズに引継ぎができるようにクイックスタートガイドを作成し、配布する予定です。

業務過多等で会議に気づけない、参加ができなかった場合には、メールにて送付しております音声ファイルのご確認をよろしくお願いいたします。

台風の接近による場合などは数日前から予告する場合がありますが、急な降雨による場合などは当日中の開催となる場合があります。

3. 流域タイムライン運用確認訓練アンケートを受けた 流域タイムラインの改定について

改めて、個別緊急連絡（Web）の試行確認にご協力いただきましてありがとうございました。
流域タイムライン運用確認訓練アンケートでは、「個別緊急連絡（Web）」の実施タイミングを早めてほしいというご意見をいただいております。

対応：初期段階での提供情報の拡充

個別緊急連絡（Web）の試行では、情報共有会議での伝達事項に追加して、水位が上昇した箇所や危険箇所や河川カメラ映像を伝達しました。

個別緊急連絡（Web）の実施タイミングを早めて欲しいというご意見に対して、1日1回開催する情報共有会議にて、

- ・各会議開催メールと合わせての情報発信
- ・洪水予報対象自治体を対象として情報共有を実施する

対応を取ります。

現況水位	基準水位を超過している観測所のみ
水位予測	基準水位を超過している観測所のみ
洪水予報の発表状況	発表がある河川のみ
危険箇所	※会議のみ（メール送付はなし）
河川カメラ映像	※会議のみ（メール送付はなし）

水位に関しては、

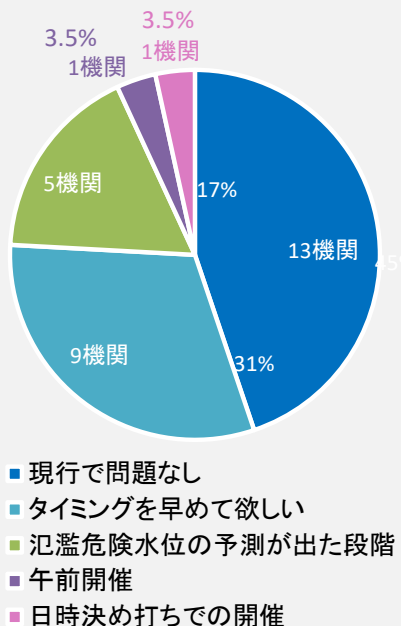
- ・予報で基準水位を超過した観測所
- ・現況で基準水位を超過した観測所

について現況の水位、予報での基準水位超過時間の情報伝達を行います。

※**危険箇所**の位置について、事前に確認したい場合には、共同点検時に提供している「共同点検関連資料」（自治体別危険箇所設定状況図）をご参照ください。



（アンケート結果）
個別緊急連絡（Web）の
実施タイミングについて



各情報共有会議の意味合い

- ・危機感共有会議、情報共有会議：1日1回状況を共有
- ・個別緊急連絡（Web）：次の情報共有会議に間に合わない場合の**緊急時**での情報提供手段

参考)流域タイムライン 情報共有方法の種別

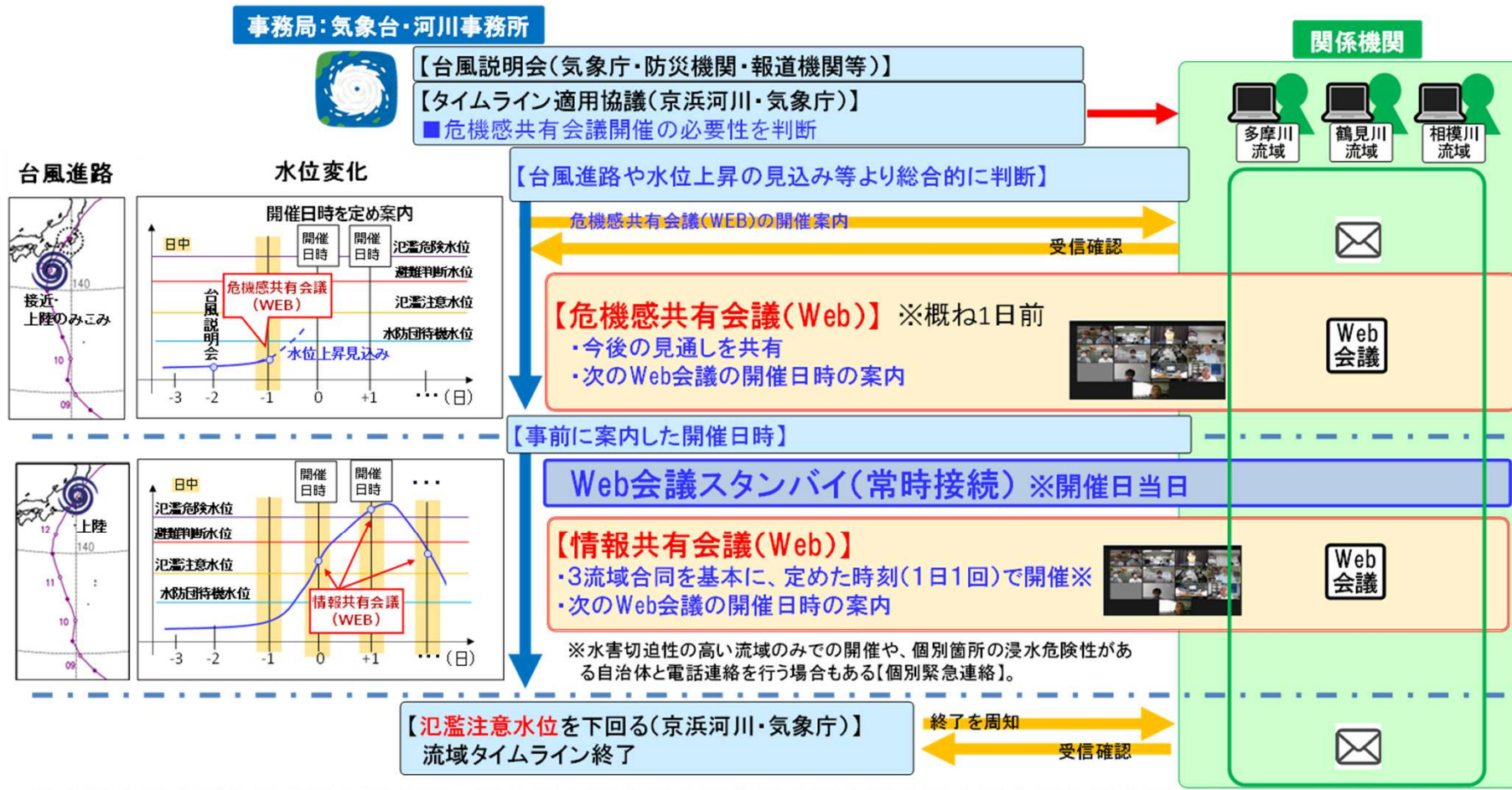
項目	危機感共有会議 (WEB)	情報共有会議 (WEB)	個別緊急連絡 (Web)	ホットライン
目的	今後の見通しを確認し、 危機感を共有	3流域の水位状況や水 位予測情報を共有	水害切迫性の高い流域 で、適格な情報を連絡	水害切迫性の高い流域 で、適格な情報を連絡
時期	36時間先洪水予測で氾 濫注意水位を超過見込 み時 (台風上陸の概ね1日 前)	事前に定めた時刻(1日 1回) (台風上陸予想当日以 降)	氾濫危険水位超過、氾 濫発生予測の2時間前 目安	避難判断水位超過、氾 濫危険水位超過、氾濫 発生の恐れがひっ迫し た時
対象	関係機関全体	関係機関全体	対象観測所の関係自治 体	対象観測所の関係自治 体
実施 者	担当者間	担当者間	首長－事務所長間 ※代理実施可	首長－事務所長間 ※代理実施可
内容	・降雨予測 ・36時間先洪水予測	・降雨予測 ・36時間先洪水予測 ・河川カメラ映像	・現況水位 ・洪水予報の発表状況 ・水位予測 ・危険箇所 ・河川カメラ映像	・現況水位 ・洪水予報の発表状況 ・水位予測 ・危険箇所
形式	3河川合同のWEB会議 形式(Teams)	3河川合同のWEB会議 形式(Teams)	洪水予報対象自治体 とのWEB会議形式 (Teams)	電話

参考) 令和7年度 流域タイムライン運用方針

過年度までの検討状況を踏まえ、流域タイムラインの運用は以下のとおりとする。

- ✓ 台風説明会後に、危機感共有会議開催の必要性を判断する。
- ✓ 台風進路や水位上昇の見込み等を踏まえた総合的な判断の上、危機感共有会議(Web)の開催日時やWeb会議URLを事前に案内する(夜間開催は想定しない)。
- ✓ 危機感共有会議では台風の進路や降雨予報等の今後の見通しを共有する。また、次のWeb会議の開催日時を案内する。
- ✓ Web会議は開催日当日にスタンバイを行い、URLを固定、常時接続可能な状態とする。
- ✓ ホットライン(WEB)は、情報共有会議(WEB)に呼称を変更する。多摩川・鶴見川・相模川の合同開催を基本として、定めた時刻(1日1回)に開催とする。また、次のWeb会議の開催日時を案内する。

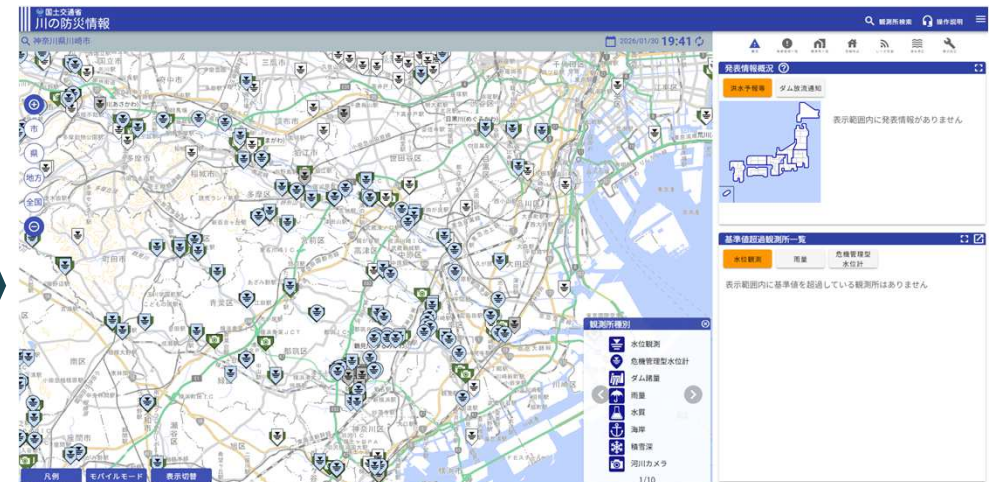
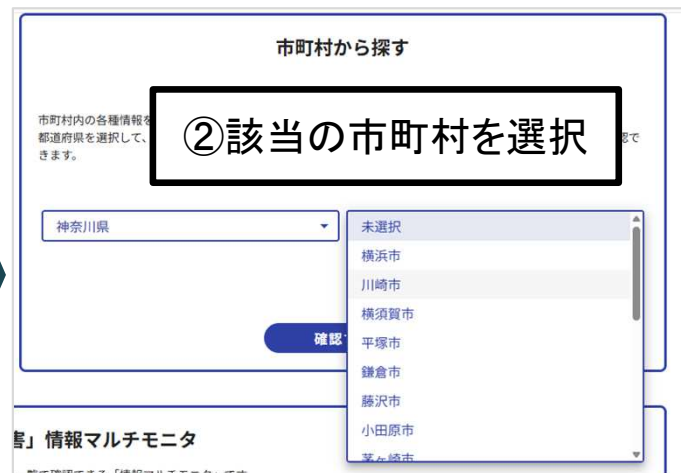
※急激な水位上昇等、水害切迫性の高い流域のみでの開催や、個別箇所の浸水危険性がある自治体と電話連絡を行う場合もある。



参考) 川の防災情報の確認方法

- 川の防災情報では、基準観測所の実測(グラフと数値)と、水位が一定程度上昇したら6時間先までの予測水位(グラフ)を確認することができます。
- スマートフォンでも確認が可能です。

<https://www.river.go.jp/index>



こちらのページで選択した市町村での「洪水予報等の発表状況」「ダム放流通知」「観測所の水位情報一覧」「避難情報」を一覧で確認することができます。

地図情報から現在の水位状況について確認することができます。基準水位を超過すると、水位観測所のアイコンに該当の色が付きます。

参考) 水害リスクライン (内部公開用) の確認方法

自治体のみ

- 水害リスクライン(内部公開用)では、基準観測所の6時間先までの予測水位を確認することができます。
- インターネットに繋がる個人PCやスマートフォン等からもID/PWを入力することで利用可能です。

<https://frlg.river.go.jp/>

①ID/PWを入力する

②関東をクリックする

③水系未選択をクリックする

④多摩川/鶴見川/相模川をクリックする

⑤水位観測所(▲)をクリックする

⑥予測水位を含めた水位観測所の水位を確認できる

時刻	水位(m)
17:10	1.37 ↓
17:20	1.33 ↓
17:30	1.27 ↓
17:40	1.21 ↓
17:50	1.16 ↓
観測 18:00	1.11 ↓
予測 19:00	1.10 ↓
予測 20:00	0.69 ↓
予測 21:00	0.44 ↓
予測 22:00	0.27 ↓
予測 23:00	0.20 ↓